



CASE 導入事例

事例01

京都伝統産業ミュージアム

- 職人の想いを、AIアバターが届ける
- 施設ガイド × 知識・魅力の伝承

課題

- 伝統工芸の魅力を深く伝えたいが、スタッフの人数に限りがある
- インバウンド観光客への多言語対応が追いついていない
- 職人の技術や想いを、来館者一人ひとりに届けたい

ソリューション

実在する京友禅の職人をAIアバター化。糸目のり職人「REI」、挿し友禅職人「Futaba」、金彩職人「MORI」など、それぞれの工程を担当する職人の分身が、来館者と対話しながら技術や想いを伝えます。多言語対応により、世界各国からの来館者にも伝統工芸の魅力を届けています。

まずは無料相談から

